

私は千葉県柏市で生活安全産業の一翼を担うべく、警備会社を展開する会社経営者です。ぜひ、新卒高校生の方々に当社の門をたたいて頂きたく、先生方、学校関係者の皆様に日頃から、経営者として思うこと、感じていることを綴ります。文化・芸能・教育・社会・経済・企業の問題を一緒に考えていきたいです。当紙の題名は私の人生訓であり、モットーでもあります。



コロナ禍での日経平均30000円到達

今から約1年前、国内でも新型コロナウイルス感染者が増えはじめ、有名芸能人が感染によって死亡したことを伝える報道が過熱し、市中の不安感がピークに達したことは記憶に鮮明です。学校の卒業式は縮小・中止に追い込まれ、人の移動と行動を制限することに躊躇できない世論が形成されて行きました。

人が外出を制限されることで経済活動は縮小し、未曾有の大不況がやってくると予測することは当然の成り行きです。1年前の3/19～27にかけ世界の株式市場は大暴落しました。

その時の総悲観の中にあって、現在の株式市場の水準を想像できた者はほとんどいないでしょう。世界各国で想像を絶する強力な経済対策が実行されました。日本ではスピード感に欠ける政治家が世論の突き上げを食らいしぶ政治決断するお決まりの体たらくですが、糸目のつかないカネが市中に流れてきたことで救われていることは多々あります。

その流動性によって緊急事態宣言下でも投資家は資産を着実に増やしていることが社会不安を抑えています。企業業績が意外と強いのも株高のおかげです。コロナがなくとも、本来なら消費増税＋在庫調整で今頃日本経済は厳しい局面にあったとさえ思います。

新型ワクチン開発が驚異的なスピードで実現し、コロナ克服の端緒が視界に入り始めました。テレワークやオンライン診療、オンライン学習などは一時のコロナしのぎに終わらせてはいけません。DXで立ち遅れている日本の課題です。



毎号、「マケテタマルカ」をご精読いただきありがとうございます。別紙のとおり、卒業式前でも現3年生の採用活動を継続しております。今後とも当社をよろしくお願ひ申し上げます。

松本 隆一郎